

田村市の家計簿

5年度の歳入約 299 億円と歳出約 286 億円を 5 千分の 1 にして、年収約 598 万円の家計に置き換えて毎月の平均を出してみました。市にはさまざまな種類の収入と支出があり、一般の家計とは少し違いますが、田村市の家計簿は次のような内容になっています。みなさんの目にはどう映るでしょうか。

収 入		支 出	
●現金収入合計	364,000円	●生活費合計	248,000円
給料（基本給） ▶市税、自主財源その他	81,000円	食費 ▶人件費	52,000円
給料（諸手当） ▶地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税、依存財源その他	182,000円	医療介護費 ▶扶助費	45,000円
副収入 ▶使用料および手数料、諸収入	21,000円	光熱水費などの雑費 ▶物件費、補助費等	148,000円
親などからの援助 ▶国庫支出金、県支出金	80,000円	家や車の維持補修費 ▶維持補修費	3,000円
●貯金の取り崩し ▶繰入金	66,000円	●子どもへの仕送り ▶繰出金	21,000円
●ローン（借入金） ▶市債	36,000円	●ローンの返済 ▶公債費	49,000円
●繰越金 ▶繰越金	32,000円	●家や倉庫、庭などの建築・改修 ▶普通建設事業費、災害復旧事業費	144,000円
		●貯金など ▶積立金、投資および出資金、貸付金	14,000円
毎月の収入	498,000円	毎月の支出	476,000円
年間の収入	約598万円	年間の支出	約572万円
貯金残高 ▶基金残高	約216万円	ローン残高 ▶地方債残高	約355万円

財政健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、5年度の健全化判断比率と資金不足比率を公表します。市の5年度決算に基づく比率は、全ての国の基準をクリアしています。

指標名	内 容	田村市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	市の一般会計等の赤字の程度を指標化したもの	-（該当なし）	12.9%	20%
連結実質赤字比率	全ての会計を合算して赤字の程度を指標化したもの	-（該当なし）	17.9%	30%
実質公債費比率	市の借入金の返済分等の大きさを指標化したもの	8.8%	25%	35%
将来負担比率	市の借入金や将来支払いが見込まれる負債分を指標化したもの	-（該当なし）	350%	-
資金不足比率	公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示すもの	-（該当なし）	20%（経営健全化基準）	

5年度ふるさと納税

5年度のふるさと納税は、総額約 1 億 4,236 万円となりました。返礼品では、米、果物、肉の人气が高く、米はコシヒカリやひとめぼれ、肉は福島牛や味付け肉、果物はシャインマスカットをはじめとしたブドウ類に人气が集まりました。
また、季節ものの PR を強化したことで、花やうなぎ、昆虫などの返礼品にも注目が集まりました。
ふるさと納税でいただいた寄附金による基金を活用し、子育て応援券の発行や小中学校の体験学習等への補助などを行いました。

【返礼品ランキングベスト3】

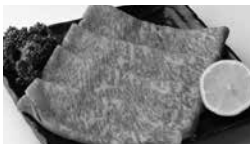
順位	カテゴリ	件数
1 位	米	3,686 件
2 位	果物	1,919 件
3 位	肉	1,549 件

以下、ハム・ソーセージ、うなぎ、酒など

【主な基金のふるさと納税による積立額】

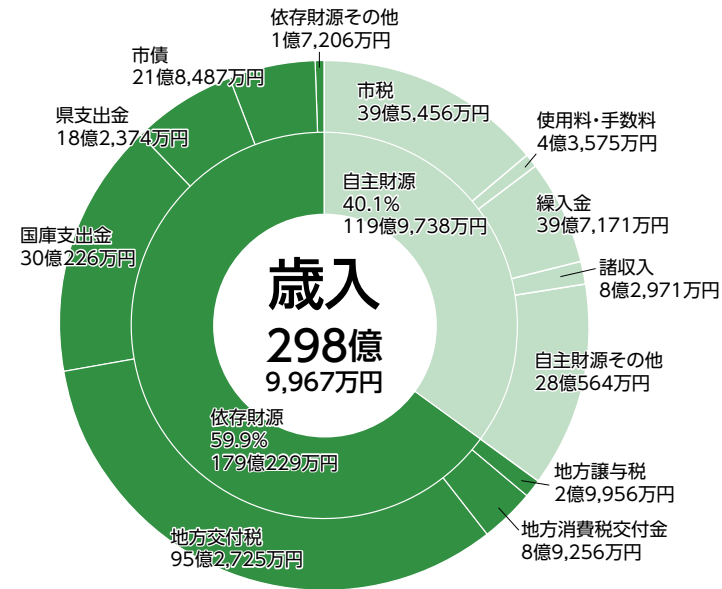
基金名	5年度積立額	5年度末基金残高（※）
子育て応援基金	2,500 万円	1 億 3,486 万円
教育文化スポーツ振興基金	3,700 万円	7,673 万円
市民病院建設基金	3,000 万円	4 億 7,263 万円

※基金残高にはふるさと納税以外の積立金も含まれます。



市税負担 1人あたり 11万8,733円 1世帯あたり 30万8,324円	行政サービス経費 1人あたり 85万7,648円 1世帯あたり 222万6,368円
---	--

6年4月1日現在	
人口 33,295人	世帯 12,826世帯



●主な事業

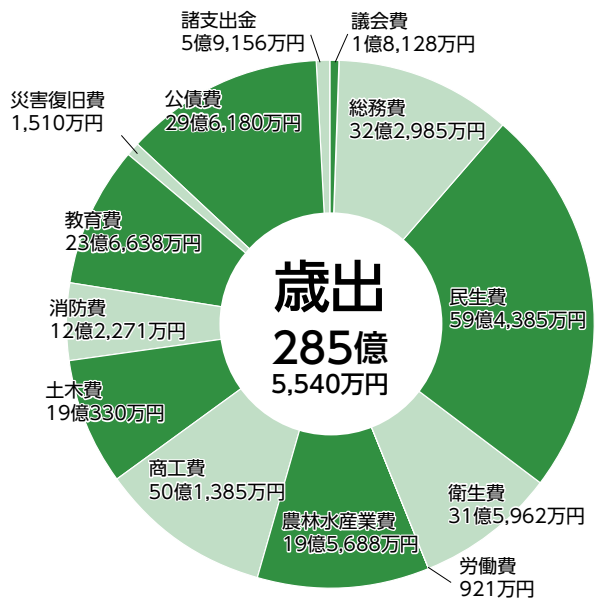
総務費	市民 1 人あたり	
移住定住推進事業	2 億 8,458 万円	8,547 円
生活交通等対策事業	1 億 5,539 万円	4,667 円
民生費		
子育て支援事業	10 億 9,549 万円	32,902 円
老人福祉事業	9 億 7,116 万円	29,168 円
衛生費		
ごみ、し尿処理事業	21 億 198 万円	63,132 円
病院対策事業	1 億 5,340 万円	4,607 円
農林水産業費		
農林業振興事業	9 億 5,198 万円	28,592 円
農地整備等事業	7 億 1,675 万円	21,527 円
商工費		
商工業振興事業	2 億 8,234 万円	8,480 円
観光推進等事業	2 億 6,238 万円	7,880 円
土木費		
道路新設改良事業	4 億 6,340 万円	13,918 円
下水道事業補助金等	5 億 720 万円	15,233 円
消防費		
消防施設等整備事業	1 億 6,678 万円	5,009 円
郡山地方広域消防組合負担金	7 億 8,716 万円	23,642 円
教育費		
スクールバス運行事業	2 億 2,617 万円	6,793 円
学校給食事業	3 億 7,416 万円	11,238 円

決算報告

5年度

皆さんが納めた税金は、この一年間でどのように使われたのでしょうか。一般会計を中心にお知らせします。

東日本大震災からの復興に向けた取組みや物価高騰対策事業などにより、歳出決算額は 285 億 5,540 万円になりました。また、翌年度へ繰り越す事業で使用する財源 2 億 6,207 万円を除いた実質収支は、10 億 8,221 万円となりました。



●整備した主な施設

①たむらリサイクルプラザ整備事業 事業費：7億8,069万円

市のリサイクル推進施設としてリサイクルプラザを整備しました。家庭から出されるプラスチック、ペットボトル、かん類、びん類の処理を行っています。

②田村市陸上競技場走路等改修事業 事業費：3 億 228 万円

トラック走路等の改修工事を行いました。日本陸上競技連盟の第 3 種公認陸上競技場として認定を受けています。

③田村市東部産業団地整備事業 事業費：41億5,033万円

企業立地により雇用を創出するため東部産業団地を整備しました。すでに A 区画、B 区画とも立地協定が締結され、操業開始に向けた準備が進められています。

